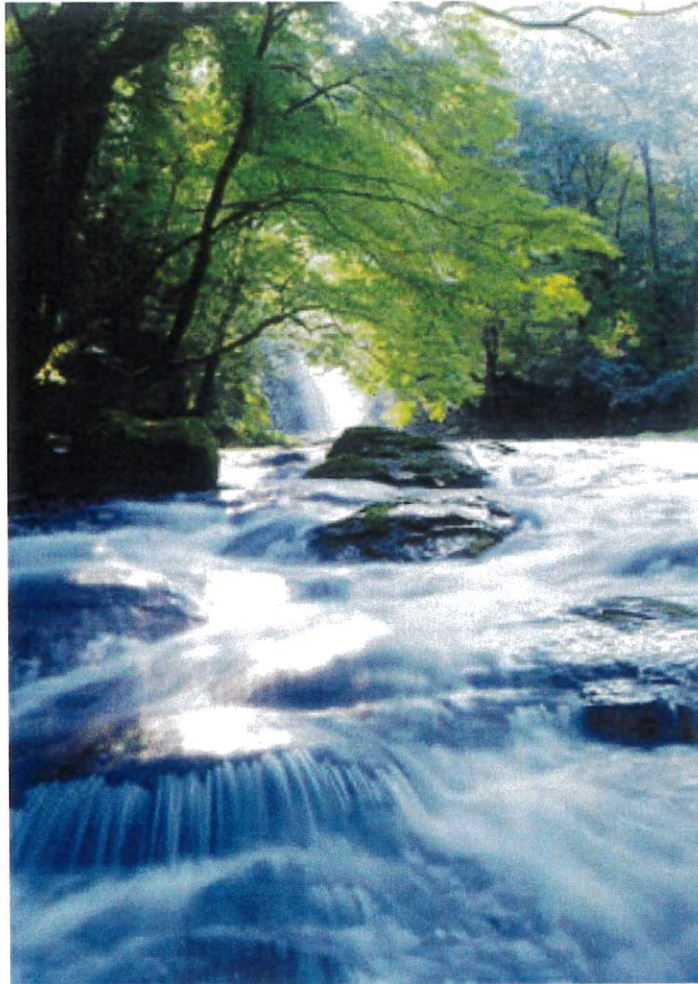


# 環境活動レポート

(平成28年 9月 1日～平成29年 8月31日)



エコアクション21  
認証番号0009782



平成29年11月20日作成



株式会社

昇 和

# 1. 環境方針

私たちは、美しい地球環境を守り次世代へ伝えていくことの大切さを常に考え行動します。

私たちは、全社一丸となって、解体工事から産業廃棄物の収集運搬・処分及び再資源化業務を通じて、建設廃棄物のリサイクル率向上・環境負荷低減を進めることによって、循環型社会形成に貢献します

1. 企業の社会的責任を果たすため、企業倫理を守り、法令及び関係先からの要請を遵守し、社会に貢献していきます。
2. 地球環境の維持・向上に寄与するため、事業活動の環境目標及び行動計画として下記の重点項目を設定します。
  - ① 解体工事など建設工事に伴って発生する産業廃棄物および自社で発生し又は受託した産業廃棄物の分別・選別とゼロエミッションの推進
  - ② リサイクル施設の電力原単位低減と建設機械および運搬車両等の燃費向上による二酸化炭素排出原単位の低減
  - ③ 騒音、振動および粉塵発生の低減による環境に配慮した作業の促進
  - ④ 雨水の有効利用および効果的な散水実施を通じた用水使用量の削減による総排水量の削減
  - ⑤ 事務用品を中心としたグリーン購入の推進
  - ⑥ 本業において顧客等の環境協力を得て、再生品の品質向上を進めた販売強化
3. 環境コミュニケーションを通じて、環境活動の状況を内外に伝達します。
4. 全従業員に、この環境方針を周知します。

制定日 平成25年 3月29日  
改訂日 平成29年 9月 1日

株式会社 昇 和  
代表取締役 佐 藤 昇

署名 佐藤 昇

## 2. 取組みの対象組織・活動

### 1) 組織の概要

#### (1) 事務所名及び代表者名

株式会社 昇 和  
代表取締役 佐藤 昇

#### (2) 所在地

本社 : 大阪府大阪市港区田中二丁目1番1号  
西向島リサイクルセンター : 兵庫県尼崎市西向島町111番5  
常吉リサイクル製品ヤード : 大阪府大阪市此花区常吉二丁目9番46号  
東海岸リサイクル製品ヤード : 兵庫県尼崎市東海岸町地先

■ 認証・登録範囲(場所): 本社、西向島リサイクルセンター、常吉リサイクル製品ヤード  
東海岸リサイクル製品ヤード

#### (3) 環境管理責任者名・担当者連絡先

■ 環境管理責任者: 佐藤 昇  
■ 担当者: 後藤田 紘  
■ 連絡先: TEL 06-6577-5555 FAX 06-6577-5565  
■ E-mail: showa-satoh@arion.ocn.ne.jp

#### (4) 事業の内容

- 1、産業廃棄物中間処理、収集運搬及びリサイクル
- 2、土木工事、杭工事、解体工事、建築工事
- 3、再生路盤材及び木材チップ製造・販売
- 4、汚染土掘削・運搬

■ 認証・登録範囲(現在): 全組織・全活動

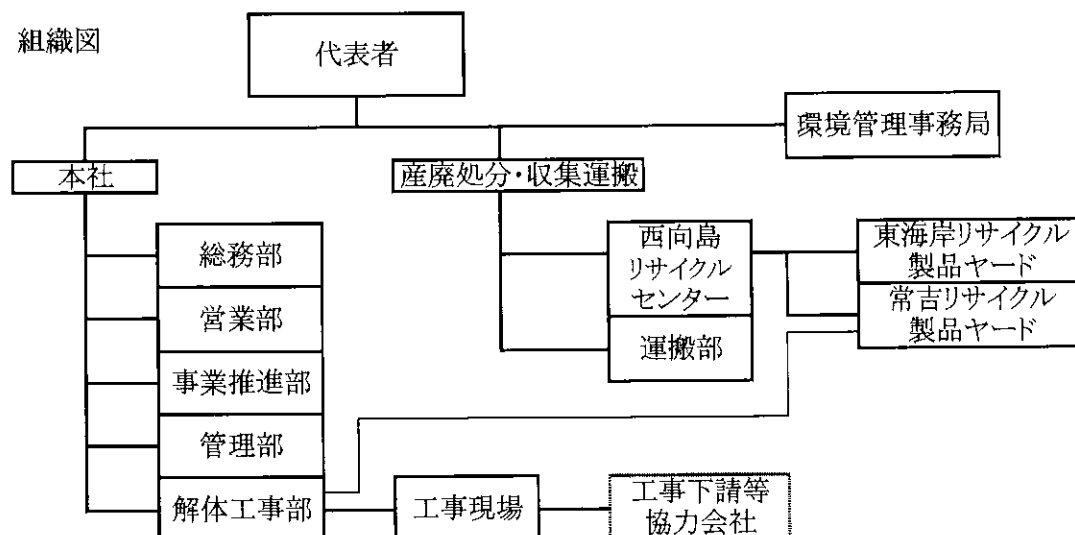
#### (5) 資本金

5,000万円

#### (6) 売上高(平成28年9月～平成29年8月)

3,476 百万円(うち産業廃棄物部門 697.9 百万円)

#### (7) 組織図



#### (8) 法人設立年月日

平成 4年 3月

## 2) 許可・登録の内容

産業廃棄物処理業														
管轄 官公庁	許可番号	許可年月日	有効期限	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	ゴムくず	金属くず	ガラスくず	鉱さい	がれき類	積替・保管
収集運搬業	大阪府	02700161700	平成28年09月30日	平成33年09月29日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	無
	兵庫県	02803161700	平成28年10月18日	平成33年10月17日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	無
	京都府	02600161700	平成28年12月14日	平成33年12月13日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	無
	奈良県	02900161700	平成28年10月21日	平成33年10月20日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	無
	岡山県	03300161700	平成28年11月09日	平成33年11月08日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	無
	滋賀県	02501161700	平成28年11月22日	平成33年11月21日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	無
	三重県	02400161700	平成28年12月01日	平成33年11月30日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	無
	岐阜県	02100161700	平成28年11月22日	平成33年11月21日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	無
	和歌山県	03000161700	平成28年10月21日	平成33年10月20日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	無
処分	尼崎市	07123-161700	平成28年09月01日	平成33年08月31日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	

石綿含有産業廃棄物を含む

## 2. 建設業

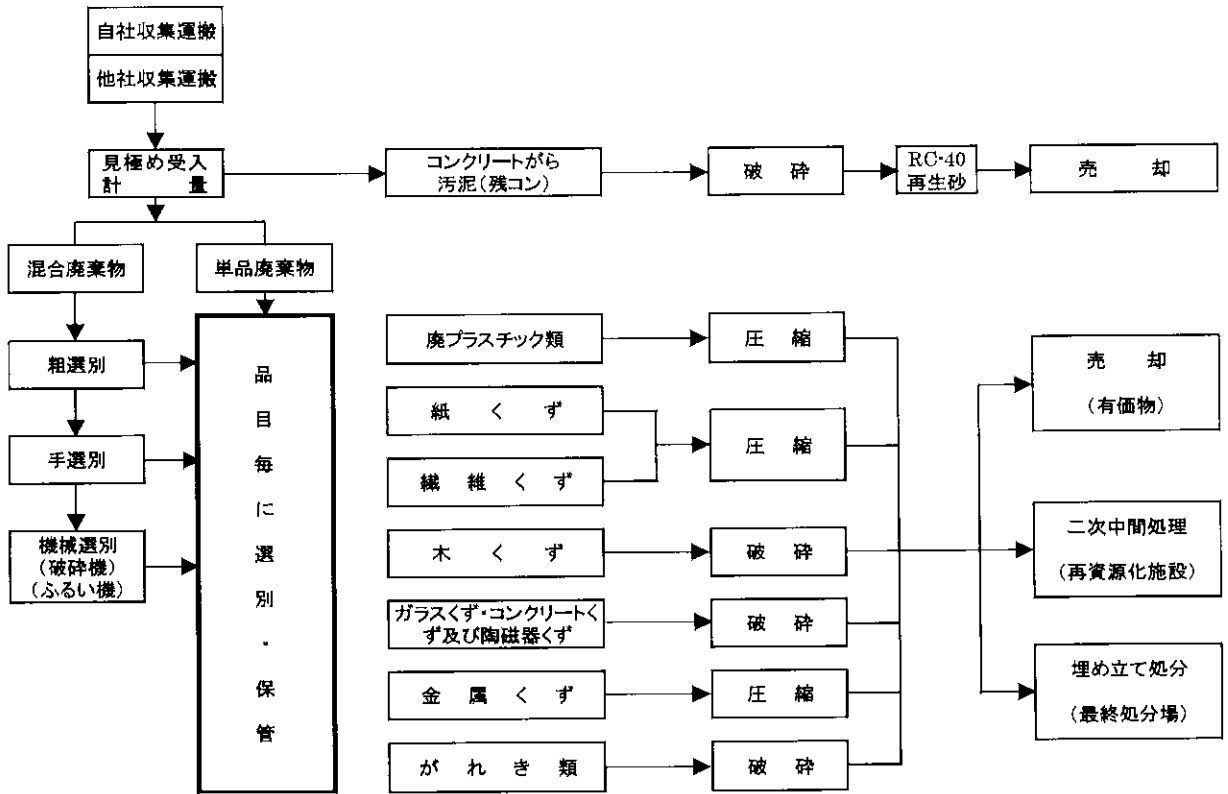
管轄	国土交通大臣許可
許可番号	(特-28)第26341号
許可年月日	平成28年8月26日
有効期限	平成33年8月25日
許可業種 (11業種)	土木工事、建築工事、大工工事、左官工事、とび・土工工事、石工事、屋根工事、タイル・レンガ・ブロック工事 鋼構造物工事、鉄筋工事、舗装工事、しゅんせつ工事、板金工事、ガラス工事、塗装工事、防水工事 内装仕上工事、熱絶縁工事、建具工事、水道施設工事、解体工事

## 3) 事業の規模・施設等の状況

- ① 従業員数:63名(役員・正社員61名、パート4名(社員換算2名))
- ② 事業所敷地面積
  - ア. 本社 : 707.6m<sup>2</sup>
  - イ. 西向島リサイクルセンター : 9,344.6m<sup>2</sup>
  - ウ. 常吉リサイクル製品ヤード : 2,326.5m<sup>2</sup>
  - エ. 東海岸リサイクル製品ヤード : 960.0m<sup>2</sup>
- ③ 車両
  - ア. 収集運搬および工事車両の種類・台数 :
    - 10tダンプ車35台(うち自社分10台、庸車分25台)、大型ロングダンプ1台
    - スカニア低床ロングトレーラー1台、大型ダンプ1台、3tダンプ車5台、
    - 4t脱着装置付きコンテナ車4台、4tユニック車1台、2m<sup>3</sup>積コンテナ11箱
  - イ. 作業車両 : ホイールローダ3台、油圧ショベル18台、ガラパゴス1台、フォークリフト3台  
マルチハイリフト解体機1台、自走式スクリーン1台
  - ウ. 営業車両 : 普通乗用車 16台
- ④ 主要設備
  - ア. 資源化再利用施設(乾燥・破碎・整粒)
  - イ. 破碎施設

許可番号	施設の種類の種類	設置年月日	産業廃棄物の種類・処理能力	処理方式
912007	木くず又はがれき類の破碎施設	平成10年01月23日	がれき類 2,340t/日 汚泥・ガラスくず等 2,340t/日	破碎・選別・篩い分け
915003	木くず又はがれき類の破碎施設	平成16年03月25日	木くず 27.2t/日 金属くず 15.4t/日 紙くず 23.3t/日	選別・破碎・篩い分け
915004	廃プラスチック類の破碎施設	平成16年03月25日	廃プラスチック類 22.2t/日 ガラスくず等 64.8t/日 繊維くず 17.1t/日	選別・破碎
—	汚泥の天日乾燥施設	平成23年08月22日	汚泥(コンクリート残渣に限る) 2.6m <sup>3</sup> /日	天日乾燥

⑤処理工程図



4) 処理実績(平成28年9月～平成29年8月)

産業廃棄物取扱量 : 収集運搬量: 161,689 t  
 中間処理量: 188,959 t

5) 廃棄物処理料金

個別見積書による

6) 解体工事实績(平成28年9月～平成29年8月)

公共工事: 件数 : 26 件 受注高 : 1,222 百万円  
 ( 年度内工事施工高 829 百万円 )

民間工事: 件数 : 105 件 受注高 : 3,202 百万円  
 ( 年度内工事施工高 1,675 百万円 )

### 3. 環境目標とその実績

#### 3-1 環境目標

【全社】 売上高は全社の売上高を使用しています。

《電力に係る二酸化炭素の排出係数は、関西電力の平成26年度の調整後排出係数0.523kg-CO<sub>2</sub>/kWhを用いています。》

項目 単位	平成24年9～8月 (基準年度)	平成28年9月～8月 (削減率)	平成29年9月～8月 (削減率)	平成30年9月～8月 (削減率)	平成31年9月～8月 (削減率)
二酸化炭素排出量 kg-CO <sub>2</sub> / 売上高 (百万円)	1,128	1,083 (▲4%)	1,072 (▲5%)	1,061 (▲6%)	1,049 (▲7%)
電力の使用量 kWh / 売上高 (百万円)	200	192 (▲4%)	190 (▲5%)	188 (▲6%)	186 (▲7%)
ガソリンの使用量 ℓ / 売上高 (百万円)	17.1	16.4 (▲4%)	16.3 (▲5%)	16.1 (▲6%)	15.9 (▲7%)
軽油の使用量 ℓ / 売上高 (百万円)	77.7	74.6 (▲4%)	73.8 (▲5%)	73.0 (▲6%)	72.2 (▲7%)
A重油の使用量 ℓ / 売上高 (百万円)	289	278 (▲4%)	275 (▲5%)	272 (▲6%)	269 (▲7%)
軽油+A重油の使用量 ℓ / 売上高 (百万円)	373	358 (▲4%)	355 (▲5%)	351 (▲6%)	347 (▲7%)
一般廃棄物排出量 袋 / 売上高 (百万円)	0.199	0.191 (▲4%)	0.189 (▲5%)	0.187 (▲6%)	0.185 (▲7%)
水使用量 m <sup>3</sup> / 売上高 (百万円)	0.189	0.182 (▲4%)	0.180 (▲5%)	0.178 (▲6%)	0.176 (▲7%)
グリーン購入 購入金額率 / 年	H24年4月-6月 実績値 51%	75% (+24P)	77% (+26P)	79% (+28P)	81% (+30P)
再生路盤材販売量 千t / 年	185	204 +10.0%	129 平成28年実績比 +1.0%	131 +2.0%	132 +3.0%

※ 重機類を軽油使用のタイプに入替えているため、軽油の使用量が増加し重油の使用量が減少しています。

このため、燃料使用量は軽油に換算して把握するようにしています。

※ 軽油+A重油の使用量はA重油を発熱量を基準に軽油量(係数1.02261倍)に換算しています。

※ 環境配慮サービスは「再生路盤材販売量」増加を実施します。

※ 化学物質の取扱はありません。

### 3-1 環境目標(つづき産業廃棄物)

【西向島リサイクルセンター】原単位は産廃関係売上高基準としています。

《電力に係る二酸化炭素の排出係数は、関西電力の平成26年度の調整後排出係数0.523kg-CO<sub>2</sub>/kWhを用いています。》

項目 単位	平成24年9～8月 (基準年度)	平成28年9月～8月 (削減率)	平成29年9月～8月 (削減率)	平成30年9月～8月 (削減率)	平成31年9月～8月 (削減率)
二酸化炭素排出量 kg-CO <sub>2</sub> / 産廃売上 (百万円)	2,036	1,954 (▲4%)	1,934 (▲5%)	1,914 (▲6%)	1,893 (▲7%)
電力の使用量 kWh / 産廃売上 (百万円)	784	752 (▲4%)	744 (▲5%)	737 (▲6%)	729 (▲7%)
軽油の使用量 ℓ / 産廃売上 (百万円)	277	266 (▲4%)	263 (▲5%)	261 (▲6%)	258 (▲7%)
A重油の使用量 ℓ / 産廃売上 (百万円)	336	322 (▲4%)	319 (▲5%)	315 (▲6%)	312 (▲7%)
軽油+A重油の使用量 ℓ / 売上高 (百万円)	620	596 (▲4%)	589 (▲5%)	583 (▲6%)	577 (▲7%)
水使用量(西向島分) m <sup>3</sup> / 産廃売上 (百万円)	0.601	0.577 (▲4%)	0.571 (▲5%)	0.565 (▲6%)	0.559 (▲7%)
再生路盤材販売量(絶対量) 千t / 年	185	204 (+10%)	129 平成28年実績比 (+1%)	131 (+2%)	132 (+3%)

※ 重機類を軽油使用のタイプに入替えているため、軽油の使用量が増加し重油の使用量が減少しています。

このため、燃料使用量は軽油に換算して把握するようにしています。

※ 軽油+A重油の使用量はA重油を発熱量を基準に軽油量(係数1.02261倍)に換算しています。

※ 環境配慮サービスは「再生路盤材販売量」増加を実施します。

※ 化学物質の取扱はありません。

### 3-1 環境目標(つづき解体工事)

【解体工事関係】売上高は自社施工分の名目売上高(=自社施工工事高)を基準としています。

《建設関係は基準年度をH25年に行っているため、25年度の環境目標を基準年度に記載しています》

項目 単位	平成25年度 (基準年度)	平成28年9月～8月 (削減率)	平成29年9月～8月 (削減率)	平成30年9月～8月 (削減率)	平成31年9月～8月 (削減率)
二酸化炭素排出量 kg-CO2 / 自社施工工事高(百万円)	1,143	1,109 (▲3%)	1,097 (▲4%)	1,086 (▲5%)	1,074 (▲6%)
軽油の使用量 ℓ / 自社施工工事高(百万円)	98.7	95.7 (▲3%)	94.8 (▲4%)	93.8 (▲5%)	92.8 (▲6%)
A重油の使用量 ℓ / 自社施工工事高(百万円)	327.7	317.9 (▲3%)	314.6 (▲4%)	311.3 (▲5%)	308.0 (▲6%)
軽油+A重油の使用量 ℓ / 自社施工工事高(百万円)	433.8	420.8 (▲3%)	416.5 (▲4%)	412.1 (▲5%)	407.8 (▲6%)
定性的評価 解体時に発生する環境影響を回避ないし削減するための手順書に基づいて評価する	-	低公害重機の導入	社員表彰制度の導入	活動項目を1件増やす	活動項目を1件増やす

※ 重機類を軽油使用のタイプに入替えているため、軽油の使用量が増加し重油の使用量が減少しています。

このため、燃料使用量は軽油に換算して把握するようにしています。

※ 軽油+A重油の使用量はA重油を発熱量を基準に軽油量(係数1.02261倍)に換算しています。

※ 解体工事関係の燃料使用量については、受注物件で大きく変動しますが、平成25年度実績を基準年度としました。



## 3-2 環境活動の実績と評価

【全社】 《平成28年9月～平成29年8月》

《電力に係る二酸化炭素の排出係数は、関西電力の平成26年度の調整後排出係数0.523kg-CO<sub>2</sub>/kWhを用いています。》

項目 単位	平成24年度 H24/9-H25/8	平成28年度 目標値	実績値 (達成率%)	評価
二酸化炭素排出量 kg-CO <sub>2</sub> / 売上高 (百万円)	1,128	1,083 (▲4%)	670 38.2% 減少	○ 目標を達成しました 売上高は前年比8%減でしたが、基準年比では2.15倍でした。稼働率アップによる設備効率向上にともなって、売上高ベースでは排出量削減が進みました。
電力の使用量 kWh / 売上高 (百万円)	200	192 (▲4%)	106.0 44.7% 減少	○ 目標を達成しました 全社の消費電力は宇部興産跡地の整備関係の電力が増加しましたが、基準年比では売上増加の影響で、目標を大きく上回りました。
ガソリンの使用量 ℓ / 売上高 (百万円)	17.1	16.4 (▲4%)	17.1 4.2% 増加	× 目標を超過しました 事業の拡大に伴って正社員数が56名から61名に増加し、新規プラントの立地探しや営業活動を行い使用量が増加した一方、売上げは前年比8%減となり、原単位はが目標値を4%超過しました。
軽油+A重油の使用量 ℓ / 売上高 (百万円)	373	358 (▲4%)	88 75.6% 減少	○ 目標を達成しました 重機の燃料の重油から軽油への切り替えを進めているため、軽油換算量で比較しています。今期は前期に比較しても約10%の原単位改善が見られました。
一般廃棄物排出量 袋 / 売上高 (百万円)	0.199	0.191 (▲4%)	0.112 41.4% 減少	○ 目標を達成しました 業務量が増加し社員数も増強したため、排出量は増加しましたが、売上げ増加がそれを上回りました。
水使用量 m <sup>3</sup> / 売上高 (百万円)	0.189	0.1815 (▲4%)	0.1824 0.5% 増加	× 目標未達となりました 宇部興産跡地の整備工事にともない使用量が増加しましたが、今期の売上げは前期比8%減少したため、原単位目標をわずかながら上回りました。
グリーン購入比率 購入金額率 / 年	51.8%	75.0% (+24P)	0.0% -51.8% 減少	○ 目標を達成しました グリーンマークつきの製品を意識して購入するようにした結果、前期達成した76.6%をも上回りました。
再生路盤材販売量 千t / 年	185	204 (+10%)	128 37.1% 減少	× 目標を大幅に下回りました 路盤材の原料となるコンクリートがらの処分量が減少したことに輪をかけて販売量が減少し、大幅未達となりました。

※ 軽油+A重油の使用量はA重油を発熱量を基準に軽油量(係数1.02261倍)に換算しています。

※ 上記の表において単に売上高としているものは全社の売上高です。

※ 達成率は目標数値に対する増減割合を示します。

3-2 環境活動の実績と評価(つづき産廃業)

【西向島リサイクルセンター】 《平成28年9月～平成29年8月》

《電力に係る二酸化炭素の排出係数は、関西電力の平成26年度の調整後排出係数0.523kg-CO<sub>2</sub>/kWhを用いています。》

項目 単位	平成24年度 H24/9-H25/8	平成28年度 目標値	実績値 (達成率%)	評価
二酸化炭素排出量 kg-CO <sub>2</sub> / 産廃売上 (百万円)	2,036	1,954 (▲4%)	1,699 13.1% 減少	○ 目標を達成しました 事業が引き続き順調に伸び、部門の売上は基準年度の1.65倍となりましたが、収集運搬車両を7台から14台に増車したためCO <sub>2</sub> 排出量が増加し、目標3%減に対し実績は3.1%減でかろうじて目標を達成することができました。
電力の使用量 kWh / 産廃売上	784	752 (▲4%)	429 42.9% 減少	○ 目標を達成しました 産廃処分量は基準年比0.3%の減少でしたが、売上高は1.8倍となったため、目標を達成することができました。
軽油+A重油の使用量 ℓ / 産廃売上 (百万円)	587 *H26年度実績	575 (▲2%)	569 1.1% 減少	○ 目標を達成しました 平成26年度を基準に2%削減目標としました。結果は3%の削減となり目標を達成しました。
水使用量 m <sup>3</sup> / 産廃売上	0.601	0.577 (▲4%)	0.405 29.7% 減少	○ 目標を達成しました 水使用量は、収集運搬車両を前年度の13台から14台に増強したため、洗車用水を中心に増加しましたが、売上高の増加が寄与し、基準年度からの目標を達成いたしました。
再生路盤材販売量 千t / 年	185	204 (+10%)	128 37.1% 減少	× 目標を大幅に下回りました 路盤材の原料となるコンクリートがらの処分量が減少したことに輪をかけて売上が減少したため大幅未達になりました。次年度以降はH28年度実績をベースとして目標の見直しをいたします。

- ※ 軽油+A重油の使用量はA重油を発熱量を基準に軽油量(係数1.02261倍)に換算しています。
- ※ 上記の表において産廃売上としているものは産廃の収集運搬業および処分量の売上高です。
- ※ 達成率は目標数値に対する増減割合を示します。

3-2 環境活動の実績と評価(つづき産廃業)

【解体工事関係】 《平成28年9月～平成29年8月》

項目 単位	基準年度 平成25年度	目標値 平成28年度	実績値 (増加率%)	評価
二酸化炭素排出量 kg-CO2 / 自社施工工事高 (百万円)	1,143	1,109 (▲3%)	1,077 2.8% 減少	○ 目標を達成しました 自社施工工事は昨年度比10.5%の伸びとなり、基準年度の1.97倍となりました。現場使用重機の買換えを進めており、燃費効率が向上したためCO2排出原単位は大きく減少しました。二酸化炭素排出原単位は大きく減少いたしました。
軽油の使用量 ℓ / 自社施工工事高 (百万円)	98.7	95.7 (▲3%)	304.4 217.9% 増加	× 目標を超過しました 前年度に引き続き工事用重機を軽油対応の重機に変更したため、軽油の使用量が大きく増加しました。
A重油の使用量 ℓ / 自社施工工事高 (百万円)	327.7	317.9 (▲3%)	107.2 66.3% 減少	○ 目標を達成しました 現場使用重機の使用燃料を軽油対応の重機に切り替えているため、大幅に減少しました。
軽油+A重油の使用量 ℓ / 自社施工工事高 (百万円)	433.8	420.8 (▲3%)	414.0 1.6% 減少	○ 目標を達成しました 燃料原単位は目標値420.8(ℓ/自社解体売上高)に対し414.0(同)となり目標を達成しました。
定性的評価 解体時に発生する環境影響を回避ないし削減するための手順書に基づいて評価します	(1) 廃材の分別	リサイクルセンターから優秀の評価をもらう。	リサイクルセンターから良好であるとの評価を引き続きいただいています。	解体工事では、常に近隣住民や元請会社、発注者の目が光っており、それだけに社内的にも厳しく指導しています。 昨年度から導入した施工管理者制度の成果は着実に上がっており、自社工事はもちろんですが、外注工事についても、下請業者に対して厳しく指導していますので、関係者から高い評価を得ています。 平成29年度第1四半期の大阪市建設局、都市整備局、水道局がまとめた建設工事成績評定結果で対象案件108件中第2位となりました。 今後もこの状況を継続できるように身を引き締めて業務に臨んでまいります。
	(2) 解体時の騒音・粉じん対策	①住民苦情なし ②元請評点アップ	①住民からの苦情はありませんでした。 ②元請からの評点は最良点を継続していただきました。	
	(3) CO2削減	省燃費運転の徹底	①省燃費運転はよくできました。	
	(4) 注文主から高評価を受ける	省燃費運転の徹底	①大阪市水道局から豊里営業所解体撤去工事に対し高評価を受けました。	

※ 電気および水道の使用については、元請会社一括管理になっているため当社分を把握できていません。

※ 上記の表において自社解体売上としているものは自社で解体工事を直接行った工事のうち、本年度工事施工分を計算して算出しています。

年度内に着工し完工したものは請負金額

多年度にまたがって工事したものについては、請負金額×(年度内工事日数/全工事日数)により計算日数には祝祭日休日も含んでおります。

※ 廃材の搬出量については、廃棄物関係で把握しています。

※ 軽油+A重油の使用量はA重油を発熱量を基準に軽油量(係数1.02261倍)に換算しています。

## 4. 主要な環境活動計画の内容と取組結果の評価

(平成28年 9月～平成29年 8月)

環境目標	取り組み項目	評価	
CO <sub>2</sub> の削減	—		—
電力使用量の削減	取り組み事項の説明(教育)	○	本年度も9月、1月、4月に全社員を対象に取組み状況および今後の進め方について教育を実施しました。
	不要時の消灯	○	不要な場所や休憩時の消灯がほぼ徹底できました。
	運転停止時の電源オフ	○	昼休憩時や終業後は電源オフが徹底してきました。
	エアコン温度管理の徹底	○	エアコンの使用を控えることができました。
	エアコン点検記録	○	日常目視点検及び月次簡易点検を行いました。
	削減目標の達成結果	○	削減目標を達成しました。今後も省電力推進手順書に基づいてこまめな活動を推進して更なる削減を目指します。
燃料使用量の削減	取り組み事項の説明(教育)	○	本年度も9月、1月、4月に全社員を対象に取組み状況および今後の進め方について教育を実施しました。
	車両の点検整備の徹底	○	月次点検、日常点検を徹底して実施しました。
	車両の走行距離の低減	○	収集運搬経路をあらかじめ調査し、無駄な走行をしないようにしました。
	エコドライブ・省燃費運転の徹底	○	エコドライブ・省燃費運転の教育を実施し、運転手に実践を徹底しました。また燃費データを車両ごとにとり、燃費目標を2.0km/Lとして、来年度以降取組みます。
	削減目標の達成結果	○	業務量が大幅に増加し、自社車両を増強しましたが、軽油・重油合計の原単位を改善することができました。次年度からは、省燃費推進手順書に基づいて燃費改善活動を推進し、さらなる改善を目指します。
廃棄物排出量の削減	取り組み事項の説明(教育)	○	本年度も9月、1月、4月に全社員を対象に取組み状況および今後の進め方について教育を実施しました。
	廃棄物の分別の徹底	○	一般ごみの減量を図るため、昼食弁当をコンビニから給食業者に変更し、空容器の発生を抑制しています。
	リサイクル用途の開拓	○	新たな用途開拓の調査を進めました。
用水使用量の削減	洗車時の節水の徹底	○	従来以上に節水を指示徹底しました。4月にはタイヤ洗車機を整備し、地下槽にためた雨水を利用するようにしました。
	雨水の再利用	○	西向島リサイクルセンターでは雨水を大型地下槽に貯めて、破碎時の散水および収集運搬車のタイヤ洗浄に使用しています。
グリーン購入の拡大	環境ラベル認定等製品の優先的購入	○	グリーン製品の購入比率は前年度の76%からさらに向上し81%まで増加し、当面の目標60%を達成しました。今後も比率アップを目指して購入品の調査検討を継続していきます。
再生路盤材販売量の拡大	顧客新規開拓	×	再生路盤材の販売は基準年比69%と大幅に落ち込みました。再生路盤材の需要から考えると、今後も大きく増加することは見込めないため、次年度以降はH28年度をベースに目標値を見直します。
本来業務の環境活動の推進	関係企業とのコミュニケーション推進	○	業界団体の役員に就任し諸活動を行うとともに、元請け会社や協力会社との諸会合に積極的に参加しました。
	地域活動への積極的参加	○	本社、リサイクルセンターなど会社周辺道路の清掃を実施するとともに、本年度も大阪ベントナイト(事)の環境対策キャンペーンに参加し、大阪南港の道路清掃を行いました。また、本社およびリサイクルセンターの入口付近にABDを設置し、社外の方も利用できるようにしました。

○:良好 △:不十分 ×:未実施

## 5. 主な環境関連法令への違反、訴訟等の有無

適用される法令	適用される事項(施設・物質・事業活動等)	遵守確認
廃棄物処理法	産業廃棄物の収集・運搬、処分にかかる許可手続き、保管基準、処理基準、委託基準の遵守	○
自動車NOx・PM法	排ガス基準の遵守	○
オフロード法	重機入れ替え時に排ガス基準適合車の購入	○
大阪府生活環境の保全等に関する条例	大気汚染防止法の特定粉塵排出等作業届出が必要な工事で「石綿の使用面積が50㎡以上」の場合石綿濃度の測定計画の届出義務あり。また、「石綿含有成形板」の場合は、使用面積が1,000㎡以上の場合「石綿排出等作業」の届出義務あり。	○
兵庫県環境の保全と創造に関する条例	流入規制の遵守 大阪府と同様であるが、床面積が1,000㎡以上あるいは、「石綿若しくは石綿をその重量の0.1%を超えて含有する建築材料を使用し、床面積が80㎡以上」の場合条例に基づく届け出必要。	○
下水道法	排水基準の遵守	○
大気汚染防止法	粉じん発生基準の遵守 特定粉じん排出等作業届出(吹付け石綿、石綿を含有する断熱材・保温材・耐火被覆材がある場合)	○
土壌汚染対策法	①3,000㎡以上の土地の形質変更を予定している工事 ②有害物質を取り扱う工場・事業場の解体工事 ③法及び条例に基づく区域指定等を受けた土地の工事 汚染土壌の搬出計画届出、運搬基準の遵守	○
建設リサイクル法	建設廃棄物のリサイクル計画、工事届出義務の遵守 特定建設資材廃棄物(コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材)は再資源化の義務あり	○
労働安全衛生法	アスベスト等を使用した建築物の解体工事基準の遵守	○
石綿障害予防規則	アスベスト等を使用した建築物の解体工事基準の遵守	○
騒音規制法	騒音に係る特定建設作業(法、条例に基づく届け出)基準の遵守	○
振動規制法	振動に係る特定建設作業(法、条例に基づく届け出)基準の遵守	○
PCB特別措置法	PCB含有の恐れがある機器等の保管処分の規制の遵守	○
フロン排出抑制法	フロンを使用している業務用エアコンや冷凍冷蔵機器の有無確認・点検等の規制遵守。対象機器の定期点検実施と記録の保存	○
建設業法	解体工事業を含め各種業種の基準の遵守	○

環境関連法規への違反・訴訟はありません。なお、関係当局などからの違反等の指摘は過去3年間ありません。

## 6. 総括(代表者による全体評価と見直し)

平成28年度は売上高で対前年8%減少しました。処分業は10%の増加でしたが、解体業が86%とふるいませんでした。(自社工事は約10%の増加でした。)

- ① 全社の指標では、軽油+重油の原単位は引き続き改善いたしましたが、ガソリンの原単位は悪化しました。宇部興産跡地の整備や自社工事の増加および社員増に伴う通勤用燃料の増加によるものですが、今後も社員を増強し業容拡大を図りますのでガソリン原単位の悪化はやむを得ないと考えます。ただ社員の皆さんはエコドライブを率先実行して地域住民から感謝されるようにいたします。
- ② 処分業では、残土運搬などを行った効果と燃料転換の効果で、引き続き電力原単位や燃料原単位が低下しました。ただし、収集運搬車の燃料使用量は、担当現場の場所や搬入先の場所の影響がでてしまうので、今後は燃費を指標に加えて管理していくことにします。昨年度および本年度取得しました燃費データをもとに、平成29年度の目標値を2.0km/Lにしました。省燃費運転を心がけ燃料使用効率の向上につなげてまいります。
- ③ 解体工事では重機関係の燃料が重油から軽油に切替わっていますが、軽油と重油を合計した燃料トータルの原単位は大きく改善されています。また、大型案件の受注が相次いでいることや、当社の解体工事業での実績が評価されゼネコンや公共事業体から高い評価を受けています。
- ④ グリーン購入では、社員の意識向上のおかげでグリーン比率が81%まで向上しました。また、コピー用紙の使用量は申請関係や見積り作業の増加が影響して前年度比41%増になりました。社内文書にはコピーの裏紙使用などを再度徹底いたします。

平成29年度に宇部興産跡地での産廃工場を立ち上げる予定です。ますます忙しくなりますが、安全管理にはよりいっそう気を配って、安全操業を継続してまいります。

## 7. 次年度での取り組み

- (1) 運搬車両の燃費データがそろってきたので、次年度から目標値を2.0km/Lとして燃費向上に取り組めます。
- (2) 解体工事関係では、大阪市水道局からの高評価をバネにして、今後も引き続き受注の拡大を図り原単位の改善を進めます。
- (3) グリーン購入比率は81%を達成しましたが、購入品の内容を見直して、改善の余地を見つけて、今年度を上回る比率を目指します。
- (4) 再生路盤材の販売は、今年度を基準として、次年度以降毎年1%の伸びを目標に設定します。
- (5) 提案制度を発足しましたが制度の趣旨が社員にわかりにくかったことを反省し、次年度は社員表彰制度に改めて社員の意識向上を図るようにします。